

# 海岸堤防の嵩上げにより津波・高潮から県民の生命と財産を守る

— 小木津海岸の堤防嵩上げ事業 (日立市) —

## 【事業目的】

海岸堤防の嵩上げにより、津波・高潮から人命と財産を守り、地域の防災に寄与する。

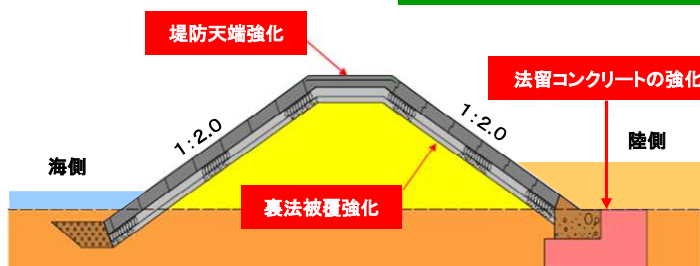
- 東日本大震災により津波が未整備の堤防を乗り越え、家屋等が浸水する被害を受けました。
- 復興事業としてL1津波※や高潮から住民の生命と財産を守るため、堤防の嵩上げを実施しています。  
※ 数十年から百数十年の頻度で発生
- 仮に、津波が堤防を越えた場合に対しても、「粘り強い構造」により、減災効果を目指した工夫を施しています。



## 粘り強い構造とは？

海岸堤防等を越流した場合であっても、施設が破壊、倒壊するまでの時間を少しでも減らすため、減災効果を目指した構造上の工夫

### 粘り強い構造の事例



## 東日本大震災 H23.3.11

津波は堤防を乗り越え、背後の住宅地へ



東連津川へと遡上する津波



整備前 T.P.+3.9m



平成27年3月完成

完成 T.P.+5.6m (1.7m嵩上げ)

## ○住民の声

- ・台風が来るたびに、浸水するのではという心配があったが、堤防が嵩上げされたことによりその不安が減った。
- ・施設も古く、決壊等の心配もあったが、きれいに更新されて安心した。

今回の完成区間により、**背後集落及び避難経路を防護！**  
(約18戸, 2ha)